

福 伴

第 200 号
令和 5 年 6 月 15 日
発行 福江中学校



ファーストペンギン



「ファーストペンギン」とは、集団で行動するペンギンの群れの中から、天敵がいるかもしれない海へ、魚を求めて最初に飛びこむ一羽のペンギンのこと。転じて、その「勇敢なペンギン」のように、リスクを恐れず初めてのこと挑戦するベンチャー精神の持ち主を、米国では敬意を込めて「ファーストペンギン」と呼びます。昨年、日本テレビ系のドラマ「ファーストペンギン」や、NHKの朝の連続ドラマ「朝が来る」でも、そのエピソードが紹介され、広く一般に知られるようになりました。

今年五月、福江中学校では、おそらく東三河管内では、初めての挑戦が行われました。それは、修学旅行の「必要であれば持って行ってもよい持ち物」の一つとして、スマホを加えたことです。今、大人の世界では、スマホは、日常生活になくてはならない必需品となっています。高価なものであり、使い方については、トラブルを招く危険性もあり、子供たちに、修学旅行はおろか、日常生活の中でも、持たせることは議論が分かれるものであります。今回、三年生の職員から初めてその話を聞いたとき、（これは、困ったなあ。どうしたものかなあ。何しろ、初めてやることだから、その影響は、大きいよな）と正直、判断に迷う案件でした。

しかし、三年生の先生たちが、「ダメというの簡単だけれど、子供たちに考えさせたい。スマホを持ち込むことによるメリットやデメリットを考えさせたり、約束を自分たちで決めさせたりするなど、自分たちで課題を解決する経験をさせていきたい」という声を聴き、（そこまで子供たちを信頼し、この修学旅行を通して、子供たちの成長を願っているのであれば、私もこの先生たちを信頼し、任せてみよう）と思いました。

この件については、来年度以降の修学旅行にも関係してくるので、三年生だけでなく、福江中の全職員で話し合いました。また、実現すれば、市内の他の中学校にも影響を与えることとなることが予想されるため、他校の校長先生にも福江中の取り組みについて説明をさせてもらい、教育委員会にも連絡を入れ、この件についての概要と進捗状況を報告しました。また、保護者の皆様からの意見をうかがう機会も必要と考え、PTA会長への相談、PTA総会後の修学旅行説明会で三年生の保護者の方にも説明し、ご意見をうかがう機会を設けました。その後、文科相の出しているスマホの学校への持ち込みについてのマニュアルも参考にしながら、保護者の方に届出書の提出をお願いし、スマホの修学旅行持ち込みが実現しました。

五月十六日からの修学旅行では、子供たちはめいっばい楽しむことができました。それと同時に子供たちも先生も大切な学びができたのではないかと思います。やる前からあきらめないこと、みんなで一緒に考えて考えること、仲間と協力すること。先生たちも、例年通りこだわらないこと、新しいことにチャレンジすること等々。

学校は、社会に出る前に、いろいろチャレンジするところ、失敗をたくさんしながら、大切なことを学ぶところでありたいと願っています。子供たちには、失敗を恐れず、勇気と覚悟をもってチャレンジする、失敗してもそこから学び、また立ち上がることができる。リスクを恐れず挑戦するそんなたくましい人に育ってくださることを願っています。

（校長 矢野 正明）

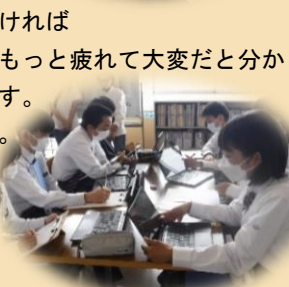
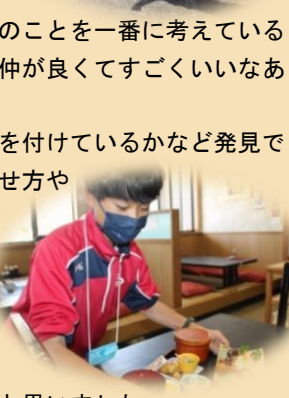
地域に感謝！ ～2年生職場体験～

【生徒の感想】

- ・頑張ったことは、職場の人とのコミュニケーションをとることや、職場の人やお客さんとすれ違った時にあいさつを大きな声で言えるようにすることです。スーパーの人は、お客さんのことを一番考えているところがすごく心に残っています。また、職場の人は、みんな仲が良くてすごくいいなあと思いました。
- ・お店の方の働き方で自分と違うところや、お店の方が何に気を付けているかなど発見できるように意識して働きました。お店の方は盛り付けの時に乗せ方や向きなどに気を付けていたり、会話をし、お客さんを笑顔にしたりしていました。すごくお客さんを大切にしているんだなと思いました。
- ・職場体験報告会で、友達の発表を聞きました。仕事をするときに「笑顔で働いている」と書いている人が多かったと思いました。なので、私は人と関わるときは笑顔を大切にしたいなと思いました。
- ・私は職場体験に行くまでの準備期間に返事をするかと笑顔でいることを頑張りました。急に返事をしっかりして、常に笑顔でいるのは難しいので、日常生活から返事や笑顔を意識して過ごしました。

【保護者の方の感想】

- ・いつも当たり前にしてもらっていることのありがたさが身に染みて分かり良い経験になったと思う。いつもは仕事の手伝いはしてくれないが、この土日は少し手伝ってくれた。子供の気持ちにも少し刺激があったのではないかな。
- ・実際に仕事をお手伝いさせてもらうと見え方が変わったようです。仕事となれば、大変なことややりたくないこともやらなければいけない。学生生活も毎日大変だけど、楽しいと思った仕事はもっと疲れて大変だと分かったみたいです。身近な大人の見方も変わるといいなと思います。
- ・働く大変さを知ることができ、よい経験になったと思います。また、将来について家庭でよく話をするようになりました。
- ・普段の自分とはまったく違った立場から物事を見て学ぶことができ、視野が広がったのではないかと思います。なかなかできない貴重な体験をさせていただきました。
- ・1人で行く生徒もいて寂しそうなので最低でも2人いれればと思いました。また、貴重な体験なので、3日間きちんとできる職場を選ぶとよいと思いました。



すごく楽しかった！ ～3年生修学旅行～

【保護者の方の感想】

- ・スマホを持参することについて議論していると聞いた時は、とても驚きました。「自分たちの希望を叶えるためにはどうしたら良いのか」を学ぶ、良い機会だったと思います。「スマホを持っていきたい」と駄々をこねるのではなく、なぜ持っていきたいのか、メリットやデメリットを調べ、自分たちでルール作りをし、冷静にプレゼンをする、賢い学年だと思いました。先生方も「修学旅行にスマホなんてダメに決まっている」と簡単に切り捨てず、子どもたちの意見に真剣に向き合ってください、とても柔軟性があると思いました。子どもには、「却下」の一言で済まされてもおかしくない事なのだから、恵まれた環境にあるねと話しました。
- ・とても楽しかったようで、生き生きとした表情で帰ってきました。沢山話もしてくれました。持ち物について異例の事が複数ありましたが、より楽しく快適に過ごせたようで良かったと思います。時代に合わせて決まり事も変化するものだと思いますし、生徒が主体となって決めていくのは、自由と責任のバランスを深く考えるきっかけとなり、とても良いと思います。マイナス面があったとしても、その都度見直して調整していけば良いのではないかと思います。
- ・いきなり色々自由になり、派手になると親がついていくのに必死です。他の学年、他校からもそのような声が聞こえてきますよ。中学生らしい修学旅行もそれはそれで良い思い出になると思います。携帯・服装など、派手になっていくことを心配しています。
- ・食事に関しては、今回個々で支払い、食べるという事が多くあり、保護者としては栄養面や脱水を心配しました。本人も東京は値段が高くお金が足りるかや待ち時間などを気にして、1日目夜はラーメンだけ、ディズニーは昼も夜もホットドックだけにしようと話していました。食事は体調に直結するので、いろいろな意見を聞いて振り返りをして、今後の参考にして下さい。



ようこそ！福江中学校へ～1年生～

4月20日（木）の新入生歓迎会では、生徒会役員が中心となり、1年生を迎え入れる楽しい会を行いました。グラウンドの真ん中の特設ステージを全校生徒が囲んで「ジャンボリミッキー・ドラゴンボール・新宝島」を歌って踊りました。1年生は「初めは緊張したけれど、先輩たちが楽しみ方を教えてくれたような気がして楽しく踊ることができました。」「先輩たちが盛り上げてくれて、中学校ってこんなに楽しいんだと知ることができました。」と振り返っていました。



【編集後記】

今年度は、保護者の皆さんの声を聞く機会を多くとりたと思っています。職場体験・修学旅行とも、成果を認めていただく言葉をたくさんいただき、職員一同感激しています。また、今後の留意点・改善点などもいただきました。ありがとうございます。

これからも保護者・地域の皆様からのご意見を参考にさせていただきながら、一緒に学校作りをしていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

